

生産者通信

NPO法人 米ニケーションセンター 定価 100円(送料込)

平成22年産米 品質低下の要因を探る②

元肥の量、植え付け本数、中干し…再検討が必須

平成22年産米の戸別所得補償制度で、販売価格の下落分を保証する「変動部分」の交付金支給額が、1万5千円と決定しました。...

毎年「キチンと穂肥がやれるような稲姿」に仕上がらないことが、問題なではないかと、前回指摘された。...

③中干しに対する考え方は、これまでも、間の生育過程の反映であり、栽培方法の問題が、栽培方法に...

機械作業の効率化を目的に、田植え1ヶ月後頃から、一時的に田んぼの水を落とすこと。...

く見かけます。また、活発に分げつが、始まってしまおうと、中干しの上昇と共に、一気に分げつが増え、過繁茂になつてしまいがちです。...

(裏面に続く)



《内山常蔵記》

ガス抜き、夜干し、味がよい、完全乾燥、うらみ透す、水性の悪い田では、天候にもよる、3日、短くは1週間以上かかる。その後も入水し、理をばらなく湛水管、ガスを抜かないため、別のものであつた、独立した技術として位置づけられ、良いの、か、ま、せん。タ、イ、ン、グ、が、そ、れ、ぞ、の、地、域、で、何、時、な、の、試、験、研、究、機、関、の、調、査、研、究、指、導、を、ほ、し、い、も、の、指、導、す。

平年に比較して少なかつた2月の降雪。それでも1月からの残雪で道路脇の雪の壁が高い上・中越地区山間部から、すでに水田に積もつていた雪も無くなった、下・中越地区平野部。県内の雪の季節も終わり、春の準備が始まるうとしていきます。  
2月中旬、山間部の農家から至急に黒土用土の注文が大量に入り、何に使うのか不明に思つて、荒れた圃場の客土を兼ねて散布されたとの事。また、2月に米所得補

Agri-s の



農機メンテの部屋

Vol.15

償制度での価格変動部分での補てんがあり、補償制度参加者はそれなりの恩恵にあずかつたかなと思ひます。  
\*\*\*\*\*  
有機使用可能資材リスト化説明会  
先回の認定機関グループによる資材評価協議会設立計画と農水省による有機使用可能リスト化と連動していると思つて、たものが、全く別であるとなつたのが有機使用可能資材リスト化事業説明会。  
農水省の事業は認定事業者や登録認定機関等が、個々の資材について使用可能か判断する基準が明確でないことによる判断の不整合。最新の資材情報をメンテナンステル仕組みが無い。などで各認定事業者及び登録認定機関において調査の負担軽減を目指し、平成24年3月までに各資材のリスト化をして公表したいと農水省表示規格課の担当者説明。説明会では製造メーカーの担当者が

多数参加されていた様で、現行JAS法における今回の事業の概略説明の後、資材登録事業の説明。質疑で専門的な立場で質問があり、JAS法の別表1・2・3における資材使用解釈の不整合の追及で一時、説明者が言葉に窮する場面も。例えば牛フン等において乾燥等を行ったものと定義しておいて、半乾燥も認めるのであるが、これらを水等で薄めた場合はダメとはおかしいのではなにか？他の資材で植物抽出液に關してはメーカー側が溶剤の種類を問わな、なぜ、認めないのかについては理解不足によるものだったが、肥料製造について造粒補助剤として蔗糖蜜の記載が無いのはなぜか？等：  
もう一つ説明会で気になつた事。近年、水田でラジコンヘリによる防除区域がかなり多く、隣接する有機圃場の緩衝距離の問題について。各登録認定機関によって緩衝距離の設定が様々だが調査の結果、RCヘリで隣

接圃場の内側4畝に散布された農薬の残留が有機圃場内側4畝地点、つまりRCヘリから8畝離れていても0.58ppmが認められた。又、水口周囲畦畔に散布された除草剤の残留が水口より4畝地点でも0.02ppmを検出。の報告があり、緩衝地帯の設定に今後注意が必要と思ひました。  
\*\*\*\*\*  
有機JAS研修会続き  
次期改正予定の有機農産物の日本農林規格原案  
別表1の基準では家畜及び家畜の排せつ物に由来するものとあるが、次期改正では人糞も認めるとの事。これは、生はダメで嫌気性発酵を行つた場合のみ認めるといふもの。ただ、人糞と記載すると好ましくないので嫌気性発酵物と表記するという。  
改正予定の有機農産物の日本農林規格原案は農水省HPで確認できます。

東日本大震災につきまして、心よりお見舞いを申し上げます

この度の過去にない甚大な被害にあわれた皆様に、私ども一同心よりお見舞い申し上げます。私どもに出来る最大限の支援をさせていただきたく考えております。余震が続き、心の落ち着かない日々が続きますが、お体ご自愛いただき、難局を乗り越えられますことを衷心より祈念いたします。

農林水産省HP  
http://www.maff.go.jp/  
Agri-s 記